

# 議題第3号 平成29年度事業報告の承認について

## 平成29年度 事業結果報告（案）

### I. 概 要

我国の少子・高齢・人口減少社会が拡大することの最大の懸案は、労働力の不足と、社会保障経費の肥大化にあります。抜本的な対策にはなりきれませんが、我々シルバー人材センターが目指している元気な高齢者の皆さんが『生涯現役』で活躍し続ける社会は、不足する労働力の補完と、健康寿命を延ばし、医療費、要介護のリスクを減らすことに大きく貢献出来ます。

このようなことから、平成29年度当センターは、生涯現役で活躍する生きがい就労の組織として、シルバー人材センター事業の持つ価値を広く普及啓発し、高まる期待に応えるべく、シルバー人材センター事業の最大の評価ポイントである『会員数の拡大』を最重点課題と捉え、事業を進めてまいりました。

特に、この会員増加に最も有効な『就業する機会の量的・質的な拡大』と、『センター事業の効果的な普及啓発活動の推進』に視点を置いて事業を展開し、具体的には、入会説明会の開催回数の増、新入会員研修会や体験就業の利便性の改良、『復活ふるさと門真祭り』や、『シルバー便利やDay』、弁天池公園でのPRイベント等々を積極的に開催し、センターの活動に身近に触れる機会を増やしてまいりました。

結果として、年度末の会員数は、1,651人となり、目標としておりました1,700人に及びませんでしたが、平成30年2月末時点で、1,732人を数え、入会者280人、退会者167人で、年内会員増加数113人となり、過去の最高数となりました。

また、あらゆる分野での高齢者の就業の可能性を模索し、特に労働力が不足する分野への派遣就業の大幅な拡大や、会員の皆さんの積極的な就業意欲と、安全就業推進委員会を中心とした一層の安全確保や、適正就業推進、就業マナー向上等を図りました。

結果として、派遣を含めた当センターの総契約金額は、6億2千7百万円余りとなり、目標を超えることが出来ました。

なお、具体的に実施した事業結果については、以下のとおり報告します。

### 1. 事業数値目標に対する結果

本年度の事業の数値目標に対して、以下の結果となりました。

	事業数値目標	平成29年度結果	達成率(%)	対前年比(%)
①正会員数（人）	1,700	1,651	97.1	107.3
入会説明会参加者数（人）	350	350	100	
新入会数（人）	320	280	87.5	
退会会員数（人）	120	167	71.9	
②契約件数 受託事業（件）	5,300	5,940	112.1	111.0
派遣事業（件）	300	251	83.6	【派遣含む】
③契約金額 受託事業（千円）	450,000	428,498	95.2	104.7
派遣事業（千円）	194,000	198,873	100.2	【派遣含む】
受託に含む 独自事業（千円）	5,500	6,641	120.7	
訪問介護事業（千円）	15,000	9,570	63.8	
④就業率 受託事業（%）	89.4	82.2	91.9	95.4
⑤就業延人員受託事業（人日）	137,000	124,148	90.6	99.7

派遣事業(人日)	3 4, 0 0 0	3 8, 6 2 6	1 1 3.6	【派遣含む】
受託に含む 独自事業(人日)	4, 3 0 0	4, 9 2 6	1 1 4.5	
訪問介護事業(人日)	3, 0 0 0	3, 0 9 1	1 0 3.0	

## 2. 具体的に実施した事業

### 【1】会員を増やす

#### 1 入会説明会の開催を実施しました。

従来の毎月10日・25日センター会議室で開催の入会説明会に加え、毎月第2日曜日のプラザd e朝市～門真もんの開催時も追加し、毎月3回、年36回実施し350名の市民の方が、入会説明会に参加されました。

#### 2 市内高年齢者参加イベントや講習会を開催し、普及啓発活動しました。

- ① グラウンドゴルフ大会(門真市民プラザ開催)
- ② 市民参加型ウォーキング(京都市【哲学の道】)
- ③ 高齢者パソコン教室の開催(生涯学習センター)

#### 3 各種イベント活動を積極的に参加し、入会の促進を図りました。

専門部会、各委員会や同好会等の協力を得て、各種イベント開催時にPRブースを設け、積極的に入会を促進しました。

- ① 『シルバー便利やDay』を年35回の実施
- ② 『弁天池公園スプリングカーニバル』4月29日(来場者数5,100名)
- ③ 『弁天池公園ふれあい感謝祭』11月23日(来場者数3,325名)
- ④ 『弁天池公園ふれあいイベント』年4回の実施

#### 4 積極的な会員による入会促進活動を実施しました。

市内の事業所に呼びかけ会員であれば割引ができる事業や地域班組織を活用し、新入会の勧誘を行いました。

- ① 『会員さんいらっしゃい!』運動での入会者数14名
- ② 『シルバーフレンドリーショップ』参加協力店60店舗

#### 5 市広報紙活用しました。

門真市が発行している広報紙を活用しました。

- ① 会員募集記事の掲載を年4回の実施
- ② 全戸配布の機関紙『シルバーだより』の発行

### 【2】就業機会を拡大する

#### (1) 生きがい就業の推進

高齢者の生きがい就業の機会を拡大する為に、請負・委任、労働者派遣、職業紹介の三つの形態を駆使し、積極的な開拓に努めました。

#### 受託事業(請負・委任による就業)

請負・委任内容の再点検をおこない、請負・委任になじまない業務は、派遣への切り替えを進めました。植木剪定・除草・清掃等の技能講習や職域・グループごとの研修会を開催し、就業のレベルアップに努めました。

適正就業推進委員会が開催する全会員を対象とした適正就業特別研修会には1,275名の会員が受講し、適正就業ガイドライン、安全就業の心得・マナー・ハラスメント等の研修会を実施しました。

#### 労働者派遣事業

労働力が不足する分野に対し、積極的に営業し労働者派遣事業を推進すると共に、派遣業務に従事した会員に対し派遣講習会を実施した。また、車両を運転する業務に従事する会員に対し、自動車安全運転講習を実施しました。

結果として派遣事業実績は対前年比40%増の実績を上げることが出来ました。

入職時訓練（入職1年未満の会員）68名

キャリアアップ教育訓練（入職1年以上の会員）276名

自動車安全運転講習受講者 50名

### 職業紹介事業

直接雇用を希望する就業については、有料の職業紹介事業を実施しました。

・契約件数5件、延べ就業会員31名、契約金額140,326円

### 訪問介護事業・総合福祉事業

訪問介護保険事業・地域支援事業・福祉有償運送事業・地域交流サロン事業等をまとめて総合福祉事業所として事業を実施しました。また、訪問介護事業の改正に伴う総合事業に積極的に取り組み、くすのき広域連合主催の研修会にも参加しました。

地域貢献の一環として、移動が困難な方のための『福祉有償運送事業』、地域の絆を結ぶ『地域交流サロン事業』の運営を継続しました。

### 指定管理事業

「弁天池公園」の指定管理者として、地域組織との連携を図り、清潔安全でにぎわいのある施設の管理運営に努めました。このことが高く評価され、門真市より最高の『A』評価をいただきました。

### 独自事業

センターが独自に企画運営する事業として、喫茶「チエブクロ」や地域交流サロン「つどエール」の運営、一般市民対象とした市民農園の運営管理や福祉有償運送事業等を行いました。

### 地域就業機会創出・拡大事業

新年度に向けて、門真市、商工会議所、北河内農協など各種団体と連携して、地域企業の労働力不足の解決、地域の活性等に寄与し、会員の就業機会の拡大につながる就業機会の創出事業を提案し採択されました。

①福祉作業所で育児支援・地域交流・世代間交流活性化

②伝統野菜栽培促進活用事業

## （2）就業の質の向上

### 1. 技能研修会の参加

大阪府シルバー人材センター協議会河北地区ブロック主催の技能講習（除草作業、植木剪定講習）に参加しました。

大阪府シルバー人材センター協議会が主体とする清掃講習会や、くすのき広域連合が主体とする総合事業講習会の周知を図り、入会の促進にも努めました。

### 2. 無事故就業の推進

門真警察署より自転車運転講習会の講義を受け95名の受講がありました。

安全就業推進委員会による市内19か所の安全パトロールを実施しました。

### 3. 適正就業

『適正就業ガイドライン』の周知徹底に努めました。

現況調査に努め、契約内容の再チェックを実施し、就業を推進した。

### 4. 調査・研究

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団との共同研究事業『健康生活アンケート』を実施し、新入会も含め947名のアンケートを取りまとめました。

総務部会による在会5年・10年の会員を対象に、『会員聞き取りアンケート』を実施し、現況確認 活動を実施しデータ更新と133名の会員意識を調べました。

## 【3】普及啓発活動を推進する。

1. センター主催イベントや各種団体等のイベント参加時に、センターの活動や主旨が広範囲に浸透する工夫を凝らした普及啓発活動に努めました。

事業部会を中心とした指定管理施設「弁天池公園」で開催するイベント「弁天池公園

「スプリングカーニバル」、「弁天池公園ふれあい感謝祭」において普及啓発を行いました。

毎週第2日曜日プラザde朝市～門真もんに年間12回参加しました。

「復活ふるさと門真祭り」、「ラブリータウン・スプリングフェスタ」に参加し、普及啓発活動に努めました。

## 2. 機関紙やマスメディア、またはソーシャルネットワークを駆使した広報活動を行いました。

機関紙「門真シルバー人材だより」を、市広報10月号に折込全戸配布しました。また、各月で週刊大阪日々新聞に記事広告を掲載しました。

4月11日放送の毎日放送情報番組「ちちんぷいぷい」で当センター事業が紹介されました。また、7月25日の読売新聞で喫茶チエブクロの記事が掲載されました。FMハナコやJCOMによる番組出演で広報活動を図りました。

## 3. ボランティア活動の推進を図りました。

協働できる団体や市民と連携を図り、門真市の美化活動に貢献いたしました。また、地域の安全防犯活動として、青色防犯パトロールを市内全域で活動しました。

○弁天池公園清掃活動 年10回

○門真市内での清掃活動 年9回

○青色防犯パトロール 年42回

## 4. フレンドリーショップの活用を推進いたしました。

会員割引加盟店『フレンドリーショップ』の新規開拓に努め、総加盟店舗数は60店となりました。

フレンドリーショップ加盟店相互のコラボレーション商品開発など、マッチング業務を進めると共に、既存加盟店舗での会員の雇用確保に努めました。

## 【4】公益社団法人としてのガバナンスの徹底を図る。

公益等認定委員会や、大阪府労働部の立ち入り検査を受け、指摘事項の改善を進めました。また、公益社団法人として、事業運営上の諸規程を整備すると共に、関連法令、諸規程の遵守に努めました。同時に、個人情報保護指針に基づいた個人情報保護の徹底に努めました。

## 【5】法人組織の活性化を目指す。

専門部会・各種委員会等の役員の職務分担制を推進し、三役部会長会議を中心とした組織の活性化を図りました。

理事体制の活性化

中長期計画『設立40周年へのマスタープラン』の必達に向けて事業運営に努めました。

各部会、委員会に優れた人材を登用し、適材適所の人員配置を図りました。

事務局体制の充実

理事会の決定に従い、迅速かつ的確に業務が履行出来る事務局体制を構築し、信頼と安心できる事務局の環境整備を整えました。

公益法人として、コンプライアンスの徹底や会計基準に基づいた適正な会計処理に努めました。

## 【6】未来、次の十年への準備を整える。

立40周年記念事業の実行委員会を設置する前段階として、三役部会長会議に記念事業の準備委員会の役割を持たせました。

次の10年へ、第2期中長期計画策定の準備に着手しました。